

**1面のご案内**

★まへのいざない  
テーマ別巻頭特集で地域の魅力を再発見。配布エリアの地図を配置し、まへのいざないです。

NO.25 2010年10月  
**中西桐子さん**  
【シークヤックインストラクター&アンバサドール】

NO.24 2010年7月  
**高橋義人さん**  
【シークヤックインストラクター&アンバサドール】

NO.23 2010年4月  
**渡辺美恵子さん**  
【NPO法人まへのいざないの代表理事】

NO.22 2010年1月  
**菅野明さん**  
【一番鳥 2代目店主】

バックナンバーはウェブで!  
[www.oomori-cafe.com](http://www.oomori-cafe.com)

馬込中学校の体育館を借り、わずか8名でスタートしたスポーツ教室。創設8年にして、今や9種、年間八五〇回ものスポーツ教室開催を主幹事業に、講師派遣や地域行事への積極的な協力など、名実ともに「地域総合スポーツ倶楽部」になつた「P-FOOT」。

馬込で育つた桑田さん。音楽が大好きな子どもだったという。バスケットボールとの出会いは中学

馬込で育つた桑田さん。音楽が大好きな子どもだったという。バスケットボールとの出会いは中学

**café**

バスケットボール、チアリーディング、テニス…地域でスポーツがいつでも誰でも楽しめるような環境づくり。そんな「ゴール」に向かって力強く「シュート」を放つのは、NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部P-FOOTの理事長であり、バスケットボール元オリンピック代表の桑田健秀さん。今回は桑田さんの素顔、そしてP-FOOTの活動にせまる。(取材・文=海老澤洋)

※caféでは大森にまつわる「ひと」をクロスタップ。編集部がその素顔に迫ります。

自らもヘッドコーチとして指導に当たる。在り製作所女子バスケットボール部「エバロウィッキーズ」と提携し、その応援隊であるチアリーディングチームを結成したり、指



観ているだけで元気になるチアリーディング (提供=P-FOOT)

桑田さんがP-FOOTをつとを設立した理由は2つ。ひとつは、P-FOOT選手がアマチュアとして活躍する多くのスポーツ愛好者が地域ネットワークをつつねること。「全国的に見ても、基本技術と安全管理とが、ちゃんと教えてくれるようなインフラが整っていないですね。基礎的なことを教えれば子どもはすぐに上手になる」と桑田さん

生るとき。「当時使っていたゴールの網が壊れてきていて、ボールがゴールに入らなかつた。その時、当時の首が良かったんだよね。持つて生まれた



190cmの身長と温和な笑顔がトレードマーク (撮影=八巻里絵子)

**桑田健秀さん**

NPO法人地域総合スポーツ倶楽部P-FOOT理事長

日々。数え切れないほどの国際試合を経験し、国境を越えた友情も芽生えたという。一九七六年(昭和51年)には、ついに日本代表としてモントリオールオリンピックのゴール出場を果たした。



エバロウィッキーズとの連携 (提供=P-FOOT)

90年代以降、バブル崩壊の影響で、相次ぐ実業団の廃部・休部。スポーツをやるに当たって基盤となる学校での部活動さえもままならない状態であった。スポーツの地域クラブ化を推し進めなければ、アマチュアのスポーツ選手がいなくなってしまう。強い危機感を抱いた桑田さんは、50歳で一念発起。退社しP-FOOTを立ち上げるに至った。

[編集後記] ■いよいよ今年は景気も上昇! 願いを込めた1面は大森場物特集。景気浮揚のためにどこまで食べられるか、あなたも是非チャレンジを。■羽田の国際化で大森も世界の玄関口。魅力満ちたのまち大森を世界のの人に自慢したいですね。なみなにオーちゃんは大田区の鳥:ウグイス。(お)

[STAFF]  
Publisher 編輯 修  
Editor in chief 編輯 修  
Art Director たかたあや  
Editor 高橋陽子(1)  
/Advertising クラカタヒロシ(2)  
Writer 大山紗都(2)  
海老澤洋(4)  
Photographer 八巻里絵子(4)  
Illustrator 池田英子  
DTP Operator 高遠智子



自ら経営するハンカレッズ馬込教室 (手前がチアの指導者でありスタッフとして働く山田俊子さん)

導者の派遣、選手との交流を企画した。見ているだけで楽しいチアにできる喜び。集客は選手の心にも響く。その感動の広がりこそ、スポーツ振興に他ならない。

あつたが、その後もバスケットとの関わりは続いていく。当時日本バスケットボール協会会長を務めていた社長の秘書としてア

「NPO法人地域総合スポーツ倶楽部P-FOOT」の最新情報はwebで! <http://p-foot.jp/>

30歳で現役を引退した桑田さんでは

トボールの「プロ化」をテーマに奔走。選手として見ていたのとは全く異なる「ビジネスとしてのスポーツ」の夢を食えるようにする命と笑った。

バスケットボール用語で「軸足」を意味するP-FOOT。その名の通り、P-FOOTはスポーツを通してプロとアマチュアを、企業と地域を、スポーツと芸術とを結びつける重要な役割を果たしている。スポーツ界全体の環境がもっとよくなるという夢が、その一心で、桑田さんは地域に根ざした「軸足」であり続ける。

**大森まちづくりカフェ 第26号 2011年ふゆ号**

[発行] 2011年1月1日(年4回 季刊)  
[配布] 大森を生活圏とする地域に15,000部  
[発行] 特定非営利活動法人大森まちづくりカフェ編集部  
〒143-0024 東京都大田区中央4-4-16  
tel/fax: 03-5935-7881 (アンケートの宛先はこちら!)  
email: office@oomori-cafe.com  
[印刷] 有限会社三平印刷所  
東京都品川区大崎 1-10-1 ☎ 03-3493-4911 <http://www.unyo.com/>

次号は **2011年4月1日発行** 予定です

園の整備計画構想など、桑田さんから力強く語られる壮大な夢の数々。「大人はよく子どもに夢を聞かなくて、その大人が夢を持っていないんじゃないか」といふ。大人ももっと、夢を語ろうよ。「夢だけじゃ食えないけど、夢がないと生きられない。それ

夢がないと生きていけない

夢がないと生きていけない

**KASUGABASHI GOLF CLUB**  
環七春日橋ゴルフ練習場

身体にやさしく、心にもやさしい練習場です。

只今ゴルフスクール生 募集中です! 詳しくはHPまたはフロントまで

入場料 いつでも 照明料 **無料**

[www.kasugabashi-golf.com](http://www.kasugabashi-golf.com)  
大田区大森西 1-10-23 ☎ 03-3761-6761  
営業 平日 9:00 (土日祝 8:30) ~ 21:30 無休 年末年始を除く

**三ツ矢堂製麺 大森店**

ついに本格つけ麺店 大森に誕生

何度も出逢いたい味がここに

テーブル席を多くご用意しました。ご家族、女性の方、お一人様にも、とても入りやすい雰囲気です。業界初! 温度を5種類からお選びいただけます。つけ麺の食べ方が広がります! あなたのお好みは?

自家製麺は【国産産の特級小麦(用小麦)】使用。ツルツルしたノドごし。モチモチした食感。店内で製麺しています。

大田区大森北1-30-4 小池ビル1F ☎ 03-6404-6310 (大森銀座商店街)  
営業 月~土 11:00~27:00 日・祝日 11:00~23:00 三ツ矢堂製麺大森店 検索

**建物から地球環境を変える会**  
<http://we-can-eco.main.jp/>

手づくり太陽光発電

本物のセルを用いた発電パネル工作キットを開発しました! 出前講座先募集中!

平成23年 2月22日(火) 17:00~18:00  
こらほ大森にて  
2重サッシ体感コーナー

大田区民生活動支援施設「こらほ大森」2階の喫煙コーナーに実物を設置。説明会等随時対応します!

お問い合わせ・お申し込み TEL 03-3765-4300 FAX 03-3768-1050 メール [we-can-eco@ucmain.jp](mailto:we-can-eco@ucmain.jp)  
本事業は「大田区協働プロジェクト」採択事業です